



学校だより

太陽祭

10月20日(土)に『みんなの力は無限大 かがやけ、太陽祭』のテーマとして太陽祭を行いました。



福島県立大笹生支援学校

NO. 3 H30. 11. 2

小学部

小学部の発表は、1・2年生が視聴覚室、3～6年生は体育館でステージ発表を行いました。

日頃学習していることを演技の中に盛り込み、練習を重ねてきました。当日は、大勢の観客の皆様があたたかく見守る中、生き生きと発表することができました。



中学部

中学部のステージ発表テーマは「World」でした。1学年はアメリカをルーツにした音楽に合わせて元気に踊りました。2学年はヨーロッパをテーマに合奏をしたり、旗やバトンを使用して息の合った発表をしたりしました。3学年は、中南米に焦点をあてて「マンボ」を生演奏しました。キーボードや鉄琴、コンガなどを使用して迫力のあるステージとなりました。また、スマイルマーケットでは、木工班・紙工班・家庭生活班がそれぞれの製品を一生懸命に販売し、完売することができました。生徒は達成感を友達と共有するなど充実した時間を過ごしました。



高等部

高等部では、先輩から踊り継がれてきた「よさこいソーラン」と、選択音楽の生徒による合奏や合唱のオープニング発表を行いました。また、午後から行われたスマイルマーケットでは、各作業班で作った製品の販売や実演を行って日頃の学習の成果を発揮し、太陽祭を盛り上げることができました。販売会場の飾り付けや接客、会計など、普段の学校生活では体験できない貴重な経験を積むことができました。



緊急時引き渡し訓練

9月28日(金)に、緊急引き渡し訓練が行われました。災害時における緊急メールの送受信や電話連絡、児童生徒の安否確認や保護者の皆様への安全な引き渡しなど、災害時を想定して実践的な訓練を行いました。

緊急メールや電話連絡から児童生徒引き渡し完了までの所要時間や児童生徒一人一人を確実に安全に引き渡す方法を保護者の皆様と一緒に確認することができ、とても有意義な訓練となりました。お忙しい中、保護者の皆様のご協力、ありがとうございました。



特別支援学校スポーツ大会

10月6日、県営あづま総合運動公園を会場に、バスケットボール、ボッチャ、フライングディスク、陸上競技、サッカーの5競技に、約510名の県内の特別支援学校高等部生が参加して大会が開催されました。

各競技に出場した選手は、これまで朝や放課後の練習で身につけた力を最後まで発揮し、白熱した試合を展開してくれました。その結果、金メダルを獲得し最高の喜びを味わった選手、残念ながら惜しくもメダルには届かず悔し涙を流した選手など、それぞれの会場で勝負の厳しさが経験できた、実り多い一日となったようでした。



(学校だよりは本校ホームページでもご覧いただけます。)